

基本的な考え方

平成 29 年 1 月に発表した新ビジョン「わきたつ東北」を受けて、アクションプランとなる中期事業計画を策定し、『わきたつ東北』の実現に向かってそれぞれの事業を推進していく。また、本中期事業計画を着実に実行していくために、PDCA サイクルを確実に回転させ、常に短期・中期双方の視点から事業検証を行いながら、毎年度ローリングし、シームレスに継続して事業活動に取り組んでいく。

事業方針（3 つの戦略）

1. 地域社会の持続性と魅力を高める 当会の基本方針である「東北は一つ」の原点を見つめ直し、安全・安心な地域社会の実現を目指して、オール東北の新たな礎を築くとともに、多様な人材の活躍を推進し、若者の地元への就職定着に努める。	2. 稼ぐ力を高める 震災後の「新しい東北」の創生において大きな役割を果たし得る加速器関連プロジェクトに引き続き先導的な役割を果たすとともに、新産業の創出、地場産業の成長促進等を通じた地域経済活性化などにも取り組む。	3. 交流を加速する 交流の加速による東北経済の活性化を図るため、インバウンド拡大に引き続き取り組むとともに、今後のスポーツ国際大会などをビジネスチャンスと捉えた諸施策を展開する。加え、交流を支えるインフラ機能の強化・充実に取り組む。
---	---	--

新ビジョンで打ち出した、東北の目指す姿『わきたつ東北』の実現に向けて、東経連は向こう3カ年、3つの戦略のもと、8つの戦略項目に取り組む

戦略1 地域社会の持続性と魅力を高める	戦略項目1. 安全・安心な地域社会の実現	● 地方創生や広域連携、産学官金共創等について議論を行う「わきたつ東北セミナー」 （わきたつ東北委員会主催）の開催 ● 「わきたつ東北戦略会議」の平成30年度設立に対する諸準備、合意形成	● 広域連携プラットフォーム「わきたつ東北戦略会議」の平成30年度内設立 ● 「アイデアコンテスト」事業提案書の完成	● 「わきたつ東北戦略会議」における産学官金共創事業の具体化・実施 ● 「第1回地域課題解決アイデアコンテスト」(仮称)の実施	○ BCM 視察会の実施(25 名参加) ○ 「わきたつ東北戦略会議」の設立に対する合意形成
	戦略項目2. 多様な人材の活躍の推進	● 地域で活躍する女性経営者による「 第1回女性経営者の会 」(仮称)の開催 ● 会員企業及び当会参与大学におけるインターンシップ実施事例の調査及び「 東経連インターンシップ事業 」提案書の取りまとめ ● (公財)東北活性化研究センター(活性研)と連携した 地元優良企業の発掘 及び学生の地元定着に資する「東北圏オンリーワン企業」(就職活動型)等の作成	● 「 女性経営者の会 」の開催 ● 「 東経連インターンシップ事業 」の実施 ● 活性研と連携した 地元優良企業の発掘 及び「東北圏オンリーワン企業」(就職活動型)等の継続作成	● 「 女性経営者の会 」の開催 ● シニア人材活用方策の確立、 高度外国人材の受入に関する本格調査 ● 「 東経連インターンシップ事業 」の継続実施及び学業支援方策の共創事業案取りまとめ ● 活性研と連携した 地元優良企業の発掘 及び「東北圏オンリーワン企業」(就職活動型)等の継続作成	○ 「第1回女性経営者の会」の開催(20 名程度) ○ インターンシップ実施事例調査及び提案書完成

戦略2 稼ぐ力を高める	戦略項目3. 世界最先端研究開発プロジェクトの誘致と次代に繋がる新産業の創造	● 国際リニアコライダー(ILC)の受入体制等に関するマスタープランの策定 及び誘致に向けた国際交渉の支援及び要望活動 ● 域内企業の技術力向上に資する「 東北加速器ネットワーク 」(仮称)の設立 ● 東北放射光施設実現に向けたリサーチコンプレックス(産学共創拠点)の具体案策定 、ものづくりフレンドリーバンクの設置及び要望活動	● ILC の地域受入体制の強化 ● 「 東北加速器ネットワーク 」の開催 ● リサーチコンプレックス整備対象施設の設置検討 ● イノベーション・コースト構想具現化に向けた要望活動及び東北企業と大学などとのマッチング	● ILC の地域受入体制の強化 ● 「 東北加速器ネットワーク 」の開催 ● リサーチコンプレックス整備対象施設の設置検討 ● イノベーション・コースト構想具現化に向けた要望活動及び東北企業と大学などとのマッチング	○ ILC 日本誘致の政府決断 ○ 「東北加速器ネットワーク」の開催及びマッチング(10 件) ○ (一財)光科学イノベーションセンター主体による東北放射光施設の詳細設計開始
	戦略項目4. 国際競争力の高いものづくり産業の集積強化	● 域内企業と車メーカー等による「 東北自動車広域ネットワーク 」(仮称)の設立 ● 東北航空宇宙産業研究会(事務局：産総研東北センター)と連携した展示会出展支援 ● 東経連ビジネスセンター(BC)と連携した企業への個別具体的支援	● 「 東北自動車広域ネットワーク 」の開催 ● 東北航空宇宙産業研究会と連携した展示会出展支援 ● 高齢化が進む地域での自動運転導入働きかけ	● 「 東北自動車広域ネットワーク 」の開催 ● 東北航空宇宙産業研究会と連携した海外展示会出展支援 ● 東日本大震災被災地公道での完全自動運転実証実験参画	○ 「東北自動車広域ネットワーク」の開催及びマッチング(40 件) ○ 支援候補企業発掘(100 件超)
	戦略項目5. 新技術・ビジネスに挑戦する地場産業の成長促進	● 優れた新技術等のマッチングに資する「 東北産学官金サロン 」(仮称)の設立 ● 地域ブランドに関する活性研との共同調査及び支援メニュー・スキームの確立 ● IoT、AI 利活用に関するセミナーの開催及び要望活動	● 「 東北産学官金サロン 」の開催 ● 地域ブランド創出に取り組む企業の発掘及び新たな支援メニュー・スキームの稼働 ● IoT、AI 利活用に関するセミナー及び要望活動	● 「 東北産学官金サロン 」の開催 ● 地域ブランド創出に取り組む企業の発掘及び新たな支援メニュー・スキームの本格稼働 ● IoT、AI 利活用に関するセミナー及び要望活動	○ 「東北産学官金サロン」の開催及びマッチング(50 件) ○ 地域ブランド(リーダー企業・経営者)の発掘(10 件)及び新しい支援メニュー・スキームの創出

戦略3 交流を加速する	戦略項目6. 東北が一体となった観光の基幹産業化	● 公共無線 LAN 利用手続きの簡素化等に関するヒアリング調査及び要望活動 ● 仙台空港におけるアウトバウンド需要調査及びプロモーション活動 ● 「 東北クルーズ振興連携会議 」への参画を通じた誘致活動の実施 ● 平昌オリンピック(2018 年)の事前合宿受入希望市町村とのマッチング	● 公共無線 LAN に関する取組事例調査及び要望活動 ● アウトバウンドに関するプロモーション活動の実施 、クルーズコンベンションへの参加 ● ラグビー・ワールドカップ(2019 年・釜石)の開催を踏まえた三陸地域の周遊観光誘導方策構築	● 産業観光コンテンツのインターネット発信及び アウトバウンドに関するプロモーション活動の実施 、クルーズコンベンションへの参加 ● 東京オリンピック・パラリンピック(2020 年)に向けた文化プログラムを含む具体事業の実施	○ 仙台空港国際路線の新規開設及び増便支援(5 件以上) ○ 外国人宿泊者(100 万人泊) ○ クルーズ船寄港(40 回) ○ 東北での平昌オリンピック事前合宿実現(各県 1 市町村以上)
	戦略項目7. グローバルなヒト、モノ、カネ、情報の交流促進	● 東北の地域産品の輸出拡大・輸出事例創出に資する「東北フェア」の海外開催 ● 鮮度保持物流技術(CA コンテナ)を活用した海外輸出の実証事業の実施 ● 活性研の媒体を活用した東北の名品の情報発信	● 海外での「東北フェア」の開催 ● 海外輸出プラットフォーム創出事業提案書の作成 ● 活性研媒体の活用等を通じた「東北世界No.1 認定事業」スキームの抽出	● 海外での「東北フェア」の開催 ● 海外輸出プラットフォーム創出事業の実施 ● 活性研と連携した「東北世界No.1 認定事業」の構築	○ 「東北フェア」における地域産品の輸出成約(5 件以上) ○ 海外輸出の実証事業の実施
	戦略項目8. 成長を支えるインフラ機能の強化・拡充	● 日本海・太平洋側のグローバル・ゲートウェイ機能の強化等に向けた要望活動 ● 国際物流に関する荷主ニーズの把握と東北港湾利用の提案 ● 「日本海沿岸東北自動車道(日沿道)建設促進フォーラム」や「東北の社会資本整備を考える会フォーラム」の実施を通じた要望活動	● グローバル・ゲートウェイ機能の強化等に向けた要望活動 ● 国際物流に関する荷主ニーズの把握と東北港湾利用の提案	● グローバル・ゲートウェイ機能の強化等に向けた要望活動 ● 国際物流に関する荷主ニーズの把握と東北港湾利用の提案	○ 企業(荷主)に対する東北域内港湾利用の提案(5 件以上) ○ 国への要望活動の実施